・・・2011 年９月 25 日発行・・・私たちは病気の親子を応援します・・・・・・第 44 号特集

＜事務局＞
NPO法人病気の子ども支援ネット
遊びのボランティア
〒162-0056
新宿区若松町10－１ＹＳビル302号室
TEL&fax　03－6380－3115

一碧湖であひると遊ぶ

いたいの いたいの 飛んでけ通信

ガラガラドン サマーヴァケーション 2011

Garagaradon Summer Vacation 2011

夏休みだ。わ～い！！　($・・)/~~~　「みんなとアンダリゾート別邸伊豆一碧湖ホテルへ」　2011 年７月 24 日（日）～25 日（月）

招待を受けたのは７家族 19 人。「がんばれ！子供村」からのお誘いで今年２度目。「入院している子どもをホテル企業が応援」するというものです。食べて、飲んで、泳いで、遊んで、大騒ぎ。ボランティアも４人が参加しました。

最高のご褒美　伊藤　母

一泊二日の素敵な旅行に招待していただきました。昨年同様、電車からワイワイガヤガヤ、途中からボランティアさんたちとも合流し、本当に楽しんでありがとうございました。

旅行は娘にとって、とても大切なものでした。それにまた僕の誕生日が重なって、今年もみなさんに祝ってもらえて幸せでした。また来年も皆で行けたらいいなと思っています。ホテルの皆さま、ありがとうございました。そしてボランティアさん達もお疲れ様でした。ボランティアさん達が、帰りの電車で眠そうにしたり楽しいことだらけでした。ごはんクコクなっていたのは納得できます。これはボランティアさんあっての旅行だと思いました！本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。坂上さん、岡部さん、波さん、篠田さんもありがとうございました。

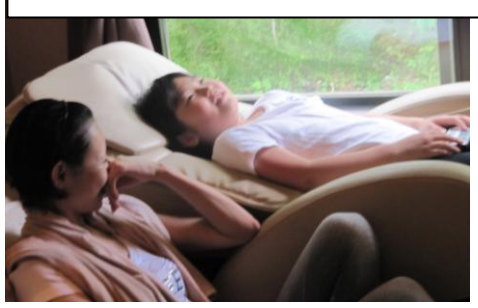
一泊旅行に招待して下さった企業の皆さん、本当に有難うございます。

誕生日を祝ってくれてありがとう　倖平（21歳）

すごく楽しかったです。ご飯も美味しかったです。また来年も遊びに来たいです。ありがとうございました。（小４）カズハ

人間の楽しい時間をありがとうございましたしはしずおか県が今回初めてです。初のにすごくすてきなホテルにとまれてすれしかったです。夜ごはんのごはんがとおいしかったです。カラオケがすごく楽たです。また来年もさそってください。（小６）桃子

豆に行ったのは、初めてだったけどみんえてうれしかったです。カラオケしたりしたり楽しいことだらけでした。ごはんしくてたくさん食べました。また行きたオケが楽しかったです。また行きたいです。（小３）駿磨



リラックス・お部屋にマッサージ機

おっきい海老フライ！ごちそうににっこり

みんなで大貧民　夜中の 12 時に

森の中で「勝ってうれしい花いちもんめ♪」

手術、苦労がふきとんだ　カズハの父

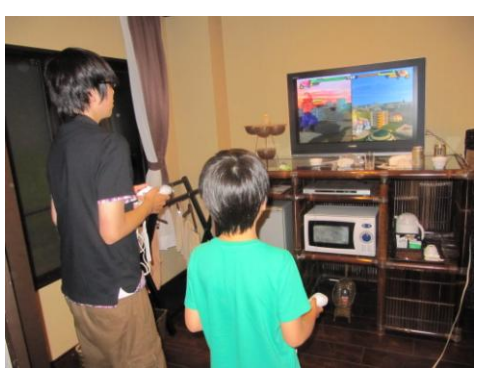
去年に続き、二度目の招待旅行でしたが、子供は今回行く前から楽しみにしていました。入院生活を共にしいた同じ病気の友達と、２日間ずっと一緒に騒いで、た良い思い出が増えて、大変感謝しています。気になって、長い闘病生活をしないと解らない辛さやしみ、苦労が、この招待旅行によって、吹き飛んだ感です。このまま病気が完治してくれれば、と思っていす。楽しい時間、場を提供していただき、本当に有りうございました。来年も招待旅行を夢見て、子供は頑っています。

一年に一度の貴重な時間　あや（小６）の母

昨年に続き二回目の参加ですが、今年も大変お世話にりました！昨年以上に娘共々楽しい時間を過ごすこと出来ました!!お食事も大変美味しく頂きました！緒にお世話になりましたお友達と遊ぶのは月に一回、院の外来の時だけで、なかなかゆっくり遊ぶ機会がなのですが、今回も行きの電車から帰りまでまるまる１半思う存分遊ばせることが出来ました。年に一回の貴な時間を頂きました！夏休みの良い思い出がまた１つえました。また来年も参加出来ればなどと図々しく思ております！本当にありがとうございました!!私は紙とか文章を書くのが苦手で短くてすみません。

いろいろな方々に支えられて生きていると実感　卓斗（６歳）　凪斗（４歳）のパパとママ

昨年に引き続き、家族４人で参加させていただきまし。２歳９カ月の時に急性リンパ性白血病を発病した息も無事に小学校に入学し、初めての夏休みを迎えまし。今では通院・検査も２カ月に１度になり、入院時に世話になっていたボランティアさん達とも会う機会がく、寂しく思っていた時に今回のようなご招待を頂き、当に嬉しかったです。子供達も久しぶりに会う友達にえてとても喜んでいました。入院中は毎日とても大変したが、退院してしまうと入院中に仲良くしていた々とも会う機会がなくなり、何となく疎遠になってしいました。１年に１度でもみんなで集まれる機会があと、お互いの近況を知ることができ、「元気になって本によかったね」「大きくなったね」と笑って語り合う事できるのは、本当に素晴らしいと思います。今現在、病中に子供はもちろん、治って退院していった子供達まだまだサポートが必要だと思います。色々な方達にえられて生きているんだと改めて実感しました。感謝気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございまし



「客の少ない時期に利用していただければ…、それにこんなに感謝されたらこちらも嬉しいです」とがんばれこども村。ＮＰＯは企業と患者家族をつなぎます。患者家族の声を家族と一緒に社会に発信します。